

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和8年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI(成果指標①)				KPI(成果指標②)				予算額(千円)	
					指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	指標名	基準年度	基準値	中期目標	
III 「安らぐまち」の実現														
市民への防火意識のさらなる普及啓発	1	火災予防の推進	火災を予防するとともに、いざという時に行動することができるよう、幼少年から高齢者に対する火災予防啓発を推進する。	予防課	住宅用火災警報器の設置率の向上	R7	88.0%	—	R7年度比向上					3,775
	2	消防音楽隊による防火・防災意識の醸成	消防音楽隊の演奏やカラーガード隊の演技を通じて、幅広い世代を対象に消防のPR活動や防火・防災の啓発活動を実施する。	訓練研修センター	聴衆者数の確保	R5	9.2万人	—	12万人					900
救急体制のさらなる強化	3	ICTを活用した救急搬送スピードアップ事業	令和6年度に導入した「患者情報管理システム」の適切な運用を行い、救急活動時間の短縮を図る。	救急課	心肺停止傷病者の1ヶ月生存率の向上	R5	16.4%	R15年度までの目標：26.6%	22.6%					19,298
	4	応急手当の普及啓発活動の推進	不測の事態により傷病者が発生した場合、現場に居合わせた誰もが適切に応急手当を行い、一人でも多くの市民の命を守るために、子どもから大人まで幅広い範囲で、応急手当の普及啓発活動を推進する。	救急課	心肺停止傷病者の1ヶ月生存率の向上	R5	16.4%	R15年度までの目標：26.6%	22.6%					856
	5	救急救命士資格取得研修	市民に対し、高度な救急救命処置ができるよう、新規救急救命士や気管挿管認定救命士の養成を行う。	救急課	心肺停止傷病者の1ヶ月生存率の向上	R5	16.4%	R15年度までの目標：26.6%	22.6%					15,340
	6	救急需要増大に伴う救急車の増台	高齢化の進展等により救急需要が増大しており、消防研究センターと行った将来推計では、2035年まで救急出動件数の増加が見込まれている。増大する救急需要に対応するため、運用する救急車を増台する。	救急課	心肺停止傷病者の1ヶ月生存率の向上	R5	16.4%	R15年度までの目標：26.6%	22.6%					0